



西都原古墳群 日本遺産認定！

古代人のモニュメント～台地に絵を描く 南国宮崎の古墳景観～

構成される文化財は西都市の西都原古墳群、宮崎市の生目古墳群、蓮ヶ池横穴群、新富町の新田原古墳群を中心とする古墳や出土品など16件。古墳の周囲に建造物がほとんどなく、古墳が造られた当時の姿形が損なわれることなく残っている点が評価されました。

● 評価されたポイント

地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統をテーマ性のある「ストーリー」でつなぎ、観光振興や地域の活性化を目的としています。認定されると、情報発信、人材育成、普及啓発、環境整備などの事業を行うことができます。

● 日本遺産とは？

5月24日、文化庁が認定する「日本遺産」に、西都市と宮崎市、新富町が共同申請した『古代人のモニュメントー台地に絵を描く 南国宮崎の古墳景観』が選ばれました。今回の認定は宮崎県で初めて、また「古墳」をテーマとしたものは全国でも初めてになります。24日に東京で認定証交付式が行われ、押川市長が出席しました。

● 宮崎県内初の認定！



▲新田原古墳群出土遺物



▲生目古墳群



今後の事業展開

今年度から3カ年、国の支援を受けながら、さまざまな事業を展開していきます。

- VR（仮想現実）を利用したウォークラリー & スタンプラリー
- 古墳群を上空から見る熱気球体験
- ミュージカル連携公演
- 古墳絵本の作成
- キャラクターグッズ制作
- ボランティア養成講座 など

協議会を設立

日本遺産認定を受け、6月4日に協議会の設立総会と第1回総会が西都原ガイダンスセンターこのはな館で開かれ、押川市長、小嶋崇嗣新富町長、西田幸一郎宮崎市教育長をはじめ宮崎県、商工団体、観光協会の代表ら9人が出席しました。